

## EnerVisualizeR サンプルコード集

---

## 目次

---

1 章 はじめに.....	1
2 章 Configurator EVR.....	2
2.1 蓄積デバイス変数設定 演算式.....	2
2.1.1 四則演算.....	2
2.1.2 数学関数による演算.....	3
2.1.3 条件判断による演算.....	3
2.2 瞬時デバイス変数設定 演算式.....	4
2.2.1 デバイス変数.....	5
2.2.2 デマンド変数.....	7
2.2.3 周期実行スクリプト.....	9
3 章 WebUI.....	12
3.1HTML 画面の追加.....	12
3.2 テキスト置換の追加.....	17

## 1章 はじめに

本書は EnerVisualizeR の Configurator EVR で使用する関数、JavaScript やサイネージで使用する HTML コードのサンプルを掲載しております。

本書のサンプルコードをコピーしてお使いいただけます。

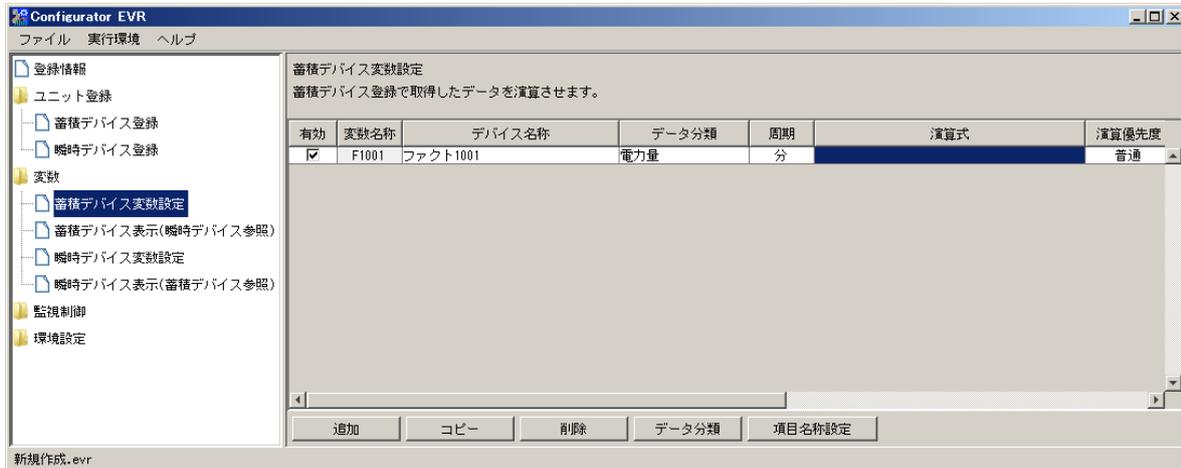
## 2章 Configurator EVR

### 2.1 蓄積デバイス変数設定 演算式

蓄積デバイス変数設定では、変数ごとに演算式による計算が可能です。

演算式には最大 512 文字が記述可能です。

本章では演算式に記述できるサンプルコードについて説明します。



#### 2.1.1 四則演算

機能	蓄積デバイス変数による四則演算が可能です	
説明	以下の設定例では、2回路の電力を合計し3つの部署で按分する場合の設定方法を記述しています。F1010、F1011、F1012 は部署別の変数とした場合、F1010 に合計の 50%、F1011 に合計の 20%、F1012 に合計の 30%がそれぞれ格納されます。 四則演算子 加算：“+” 減算：“-” 乗算：“*” 除算：“/” 余剰：%	
設定例	変数名称	演算式
	F1010	$(F1001+F1002)*0.5$
	F1011	$(F1001+F1002)*0.2$
	F1012	$(F1001+F1002)*0.3$

## 2.1.2 数学関数による演算

機能	JavaScript で定義済みの数学関数を使用し演算式を記述できます。	
	小数点以下線上げ	Math.ceil(n)
	小数点以下線下げ	Math.floor(n)
	四捨五入した整数値	Math.round(n)
	絶対値	Math.abs(n)
	正弦(x はラジアン単位)	Math.sin(x)
	余弦(x はラジアン単位)	Math.cos(x)
	正接(x はラジアン単位)	Math.tan(x)
	座標 x, y の角度	Math.atan2(y, x)
	円周率	Math.PI
	n の m 乗	Math.pow(n, m)
	平方根	Math.sqrt(n)
説明	F1001-F1002 の絶対値を返し F1010 に格納します。	
設定例	変数名称	演算式
	F1010	Math.abs(F1001-F1002)
説明	F1001、F1002、F1003 の最大の値を返し F1011 に格納します。	
設定例	変数名称	演算式
	F1011	Math.max(F1001,F1002,F1003)
説明	小数以下を四捨五入し整数を返し F1012 に格納します。	
設定例	変数名称	演算式
	F1012	Math.round(F1001)

## 2.1.3 条件判断による演算

機能	論理演算子により条件判断し演算を実行します。	
説明	F1001 と F1002 に稼動情報、F1003 に電力量が格納されている場合、F1001 と F1002 の両方が稼動状態 (1) のときに F1010 に電力量が格納されます。どちらかが非稼動 (0) のときは電力量をゼロとします。 “?”の前の式が真なら””の前の式(F1003)を F1010 に格納し、偽なら後の式(0)を F1010 に格納します。	
設定例	変数名称	演算式
	F1010	(F1001==1 && F1002==1) ? F1003 : 0

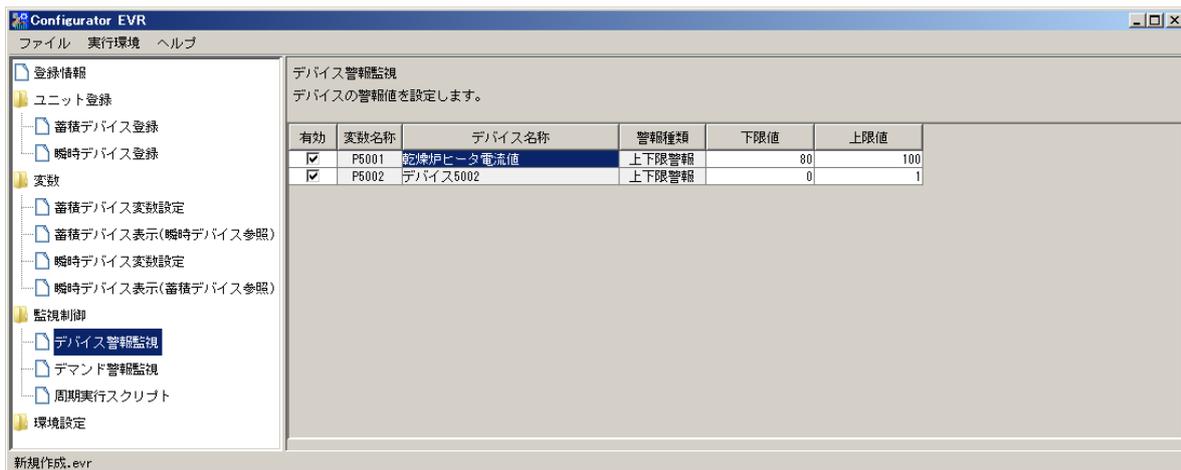
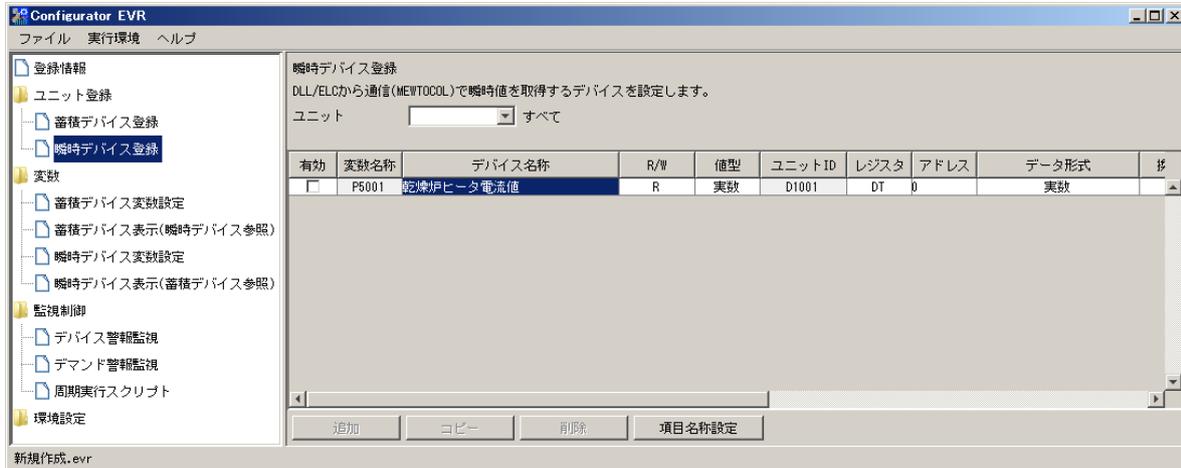
## 2.2 瞬時デバイス変数設定 演算式

瞬時デバイス変数設定で記述できる演算式は蓄積デバイス変数設定と同様に演算式を記述することができます。但し、変数は P5000～の変数名が対象となります。サンプルコードは蓄積デバイス変数設定を参照して下さい。



### 2.2.1 デバイス変数

デバイス変数は、上下限警報を設定した瞬時デバイスの状態を取得するために使用します。  
 <瞬時デバイス登録> ⇒ <デバイス警報監視> ⇒ <瞬時デバイス変数設定>の順に登録が必要



機能	デバイスの値を参照することができます。 警報状態           <デバイス変数名称>_Alm 信頼性状態        <デバイス変数名称>_Rel		
説明	デバイス変数 P5001 の警報状態を返し、P5010 に格納します。 P5001 の上限警報を取得し、P5011 に格納します。 正常：0   警報状態：1   上限警報：2   下限警報：3		
設定例	変数名称	デバイス名称	演算式
	P5010	乾燥炉ヒータ電流監視情報	P5001_Alm
	P5011	乾燥炉ヒータ電流上限警報	(P5001_Alm==2) ? 1 : 0
説明	デバイス変数 P5001 の通信状態を返し、P5010 に格納します。 不定：-1   オンライン：0   オフライン：1 数値(係数計算結果)範囲外、計算異常：2   連携データ取得エラー：3 通信エラー：4		

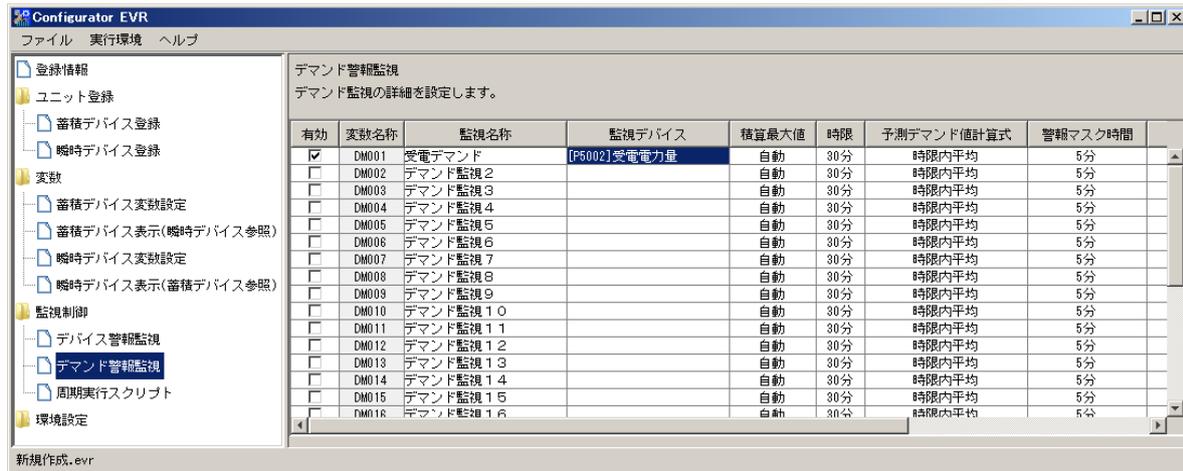
## EnerVisualizeR サンプルコード集

設定例	変数名称	デバイス名称	演算式
	P5010	乾燥炉ヒータ電流通信状態	P5001_Rel

デバイス値が取得できない場合は値が null になります。

また、ユニットがオンライン状態ではない場合にスクリプトで値を参照すると変数デバイスの値は null になります。

2.2.2 デマンド変数



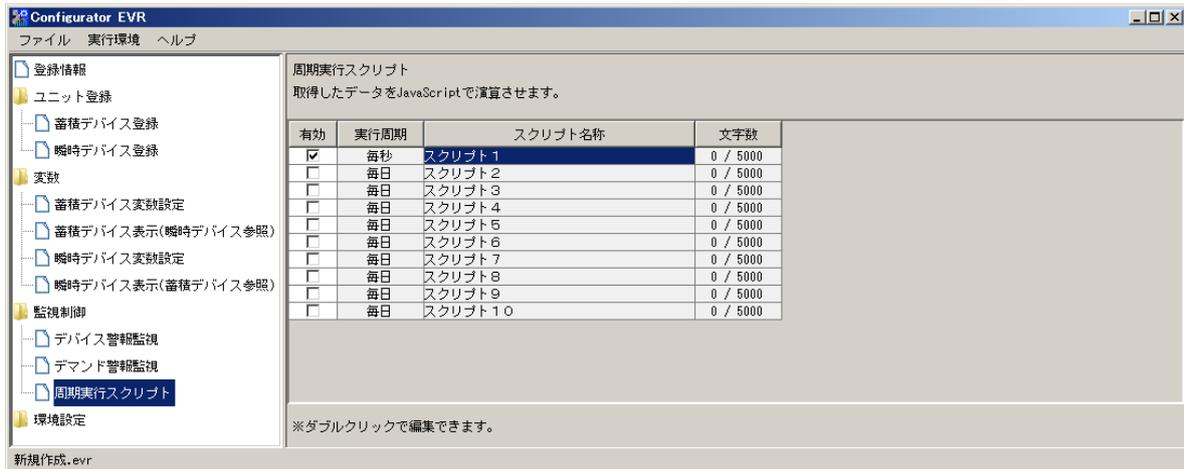
機能	デマンドの情報及び計算結果を返します。 監視番号 DM001_No 有効状態 DM001_Enb 経過時間 DM001_CurMin 開始時点監視デバイス値 DM001_OrgVal 前時点監視デバイス値 DM001_PreVal 現在デマンド値 DM001_CurDem 予測デマンド値 DM001_PreDem 調整デマンド値 DM001_AdjDem 第1警報状態 DM001_Alm1 第2警報状態 DM001_Alm2 限界警報状態 DM001_Alm3 現在警報マスク時間 DM001_MskMin 現在目標デマンド値 DM001_TrqDem 現在制御デマンド値 DM001_Ctr1Dem 現在限界制御デマンド値 DM001_Ctr2Dem		
説明	デマンド変数 DM001 の有効状態を返し、P5010 に格納します。 無効 : 0 有効 : 1		
設定例	変数名称	デバイス名称	演算式
	P5010	受電デマンド 有効状態	DM001_Enb
	P5020	受電デマンド 限界警報状態	DM001_Alm3
説明	デマンド変数 DM001 の第1警報の状態を返し、P5010 に格納します。 正常 : 0 警報発生中 : 1		
設定例	変数名称	デバイス名称	演算式
	P5010	受電デマンド 第1警報状態	DM001_Alm1
説明	デマンド変数 DM001 の第2警報の状態を返し、P5010 に格納します。 正常 : 0 警報発生中 : 1		

## EnerVisualizeR サンプルコード集

設定例	変数名称	デバイス名称	演算式
	P5010	受電デマンド 第 2 警報状態	DM001_Alm2
説明	デマンド変数 DM001 の第 3 警報の状態を返し、P5010 に格納します。 正常 : 0 警報発生中 : 1		
設定例	変数名称	デバイス名称	演算式
	P5010	受電デマンド 第 3 警報状態	DM001_Alm3

値が存在しない、または確定していない変数は値が null になります。

## 2.2.3 周期実行スクリプト



## 一括警報の出力

機能	複数のデバイスの警報を一括で出力します。
説明	デバイス変数 P5001 から P5005 に設備 A のデバイス変数が設定され、P5006 から P5010 に設備 B のデバイス変数が設定されている場合、設備 A の一括警報を P5100 に格納し、設備 B の一括警報を P5101 に格納します。更に、P5102 は設備 A と B の一括警報が格納されます。
スクリプト例	<pre> [毎分周期] [遅延時間：なし] //&lt;!- 一括警報出力サンプル -&gt; a=0; b=0; c=0;  a=P5101_Alm+P5102_Alm+P5103_Alm+P5104_Alm+P5105_Alm; b=P5006_Alm+P5007_Alm+P5008_Alm+P5009_Alm+P5010_Alm; c=a+b;  if (a&gt;0) {     P5100=1; } else {     P5100=0; }  if (b&gt;0) {     P5101=1 } else {     P5101=0; </pre>

	<pre> }  if (c&gt;0) {     P5102=1 } else {     P5102=0; } </pre>
--	---

## 1ヶ月の最大デマンド表示

機能	1ヶ月の最大デマンドを保持します。
説明	P5001 に最大デマンドを格納するデバイス変数が設定され、P5002 に PC の日付を格納するデバイス変数が設定されている場合、デバイス変数 P5001 と現在デマンド値を比較し、P5001 より現在デマンド値の方が大きくなった場合、P5001 に格納します。また、月変わりのときに前月の最大デマンドをリセットするため、前日の 0:00 に取得した PC の日付と当日の 0:00 に取得した PC の日付を比較し、日付が異なった場合、P5001 をリセット (0)します。
スクリプト例	<pre> //&lt;!-- 1ヶ月の最大デマンド表示サンプル --&gt; 1. [毎分周期] //P5001:最大デマンドを格納する変数 if (P5001 &lt; DM001_CurDem) {     P5001 = DM001_CurDem; }  2. [毎日周期] // 月替わりにデマンドをゼロリセットする if(P5002 != SYS_MONTH){     P5001 = 0;     P5002 =SYS_MONTH; } </pre>

## 1日の最大デマンド表示

機能	1日の最大デマンドを保持します。
説明	P5001 に最大デマンドを格納するデバイス変数が設定されている場合、デバイス変数 P5001 と現在デマンド値を比較し、P5001 より現在デマンド値の方が大きくなった場合、P5001 に格納します。また、日付が変わると前日の最大デマンドをリセット(0)します。
スクリプト例	<pre>//&lt;—1日の最大デマンド表示サンプル --&gt; 1. [毎分周期] // P5001 最大を覚える変数 if (P5001 &lt; DM001_CurDem) {     P5001 = DM001_CurDem; }  2. [毎日周期] // 1日周期でゼロリセットする P5001 = 0;</pre>

## 3章 WebUI

### 3.1 HTML 画面の追加

サインページ設定の「HTML 画面の追加」部品に記述する HTML コードのサンプルを説明します。  
サンプルコードをコピーして HTML コードの記述欄に貼り付けてご利用ください。



#### 水平線

機能	「HTML 画面の追加」部品のエリア内に水平線を描画します
説明	width: 長さをピクセルで指定します。省略した場合は、部品のエリア内で描画します。 align: 描画する位置を指定します。"center" "left" "right" color: 色を指定します。 size: 線の太さを指定します。
コード	<hr width="200" align="left" color="gray" size="3"> <hr width="200" align="left" color="red" size="3">
イメージ	

#### 垂直線

機能	「HTML 画面の追加」部品のエリア内に高さ(長さ)を指定して垂直線を描画します
説明	background-color: 色を指定します。 width: 線の太さをピクセルで指定します。 height: 長さをピクセルで指定します。 全て省略不可
コード	<div style="background-color:gray; width:2px; height:100px;"></div> <div style="background-color:red; width:2px; height:100px;"></div>
イメージ	

## 表

機能	「HTML 画面の追加」部品のエリア内に幅を指定した表を作成します
コード	<pre>&lt;style type="text/css"&gt; .table01 {width: 250px;} .table01 th {background-color: gray;} &lt;/style&gt;  &lt;table class="table01" border=1&gt; &lt;tr&gt;&lt;th&gt;&lt;/th&gt;&lt;th&gt;状態&lt;/th&gt;&lt;th&gt;電力&lt;/th&gt;&lt;/tr&gt; &lt;tr&gt;&lt;td&gt;設備 A&lt;/td&gt;&lt;td&gt; &lt;/td&gt;&lt;td&gt; &lt;/td&gt;&lt;/tr&gt; &lt;tr&gt;&lt;td&gt;設備 B&lt;/td&gt;&lt;td&gt; &lt;/td&gt;&lt;td&gt; &lt;/td&gt;&lt;/tr&gt; &lt;tr&gt;&lt;td&gt;設備 C&lt;/td&gt;&lt;td&gt; &lt;/td&gt;&lt;td&gt; &lt;/td&gt;&lt;/tr&gt; &lt;/table&gt;</pre>
イメージ	

## 枠付テキスト表示

機能	「HTML 画面の追加」部品のエリア内に枠付のテキストを表示します。
コード	<pre>&lt;table border="1" cellspacing="10"&gt; &lt;td width="200" bgcolor="blue" align="center"&gt;瞬時電力&lt;/td&gt; &lt;/table&gt;  &lt;table border="1" cellspacing="10"&gt; &lt;td width="200" bgcolor="green" align="center"&gt;瞬時電力&lt;/td&gt; &lt;/table&gt;  &lt;table border="1" cellspacing="10"&gt; &lt;td width="200" bgcolor="yellow" align="center"&gt;瞬時電力&lt;/td&gt; &lt;/table&gt;</pre>
イメージ	

## 塗りつぶし

機能	「HTML 画面の追加」部品のエリア内を指定した色で全て塗りつぶします
コード	<pre>&lt;body bgcolor="red"&gt; &lt;body bgcolor="green"&gt; &lt;body bgcolor="yellow"&gt;</pre>
イメージ	 Three horizontal rectangular boxes are shown side-by-side. The first box is red, the second is green, and the third is yellow. Each box has a thin blue border.

## 警報一覧表示

機能	部品エリア内に警報一覧を表示します
コード	<pre> &lt;html&gt; &lt;!-- 発生中の警報一覧 --&gt; &lt;style type="text/css"&gt; .alarmtable {   border-collapse: collapse;   border: 1px #000000 solid; } /* ヘッダのセルデザイン */ .alarmtable th{   font-family: "MS Pゴシック",sans-serif;   font-size: 1.1em;   border: 1px #000000 solid;   font-weight: normal;   background: #EFEFEF; } /* データ行のセルデザイン */ .alarmtable td{   font-family: "MS Pゴシック",sans-serif;   font-size: 1.1em;   border: 1px #000000 solid; } &lt;/style&gt; &lt;body&gt; &lt;table id="tbl" class="alarmtable"&gt; &lt;tr&gt;   &lt;th width="150"&gt;発生日時&lt;/th&gt;   &lt;th width="200"&gt;対象デバイス&lt;/th&gt;   &lt;th width="80"&gt;警報の種類&lt;/th&gt;   &lt;th width="80"&gt;警報の種類&lt;/th&gt;   &lt;th width="150"&gt;値&lt;/th&gt; &lt;/tr&gt; &lt;/table&gt; &lt;script src="/webui/js/lib/jquery/js/jquery-2.1.0.js"&gt;&lt;/script&gt; &lt;script&gt; \$(document).ready(function() { var now = new Date(); // 最大 20 件 \$.getJSON("/webui/api/alarm/logs?pageSize=20&amp;pageOffset=0&amp;fromTs=" + (now.getTime() - 1000000000) + "&amp;toTs=" + now.getTime() + "&amp;eventType=&amp;sort", function(j){ var r = ""; \$("#txtdata").append(j.alarmStates.length); for (i = 0; i &lt; j.alarmStates.length; i++) { var alarmName = j.alarmStates[i].alarmCode === 101 ? "第 1 警報" : j.alarmStates[i].alarmCode === 102 ? "第 2 警報" : j.alarmStates[i].alarmCode === 103 ? "第 3 警報" : j.alarmStates[i].alarmCode === 1 ? "状態警報" : j.alarmStates[i].alarmCode === 2 ? "上限警報" : j.alarmStates[i].alarmCode === 3 ? "下限警報" : "その他";  var eventType = j.alarmStates[i].alarmEventType === 1 ? "発生" : j.alarmStates[i].alarmEventType === 2 ? "復帰" : "その他";  // 値の小数桁制御 var alarmValue = j.alarmStates[i].alarmValue.toFixed(0);  r += "&lt;tr&gt;"; var date = new Date(j.alarmStates[i].logTs); r += "&lt;td style='text-align:center'&gt;" + date.toLocaleString() + "&lt;/td&gt;" r += "&lt;td style='text-align:left'&gt;" + j.alarmStates[i].alarmSource + "&lt;/td&gt;" r += "&lt;td style='text-align:center'&gt;" + alarmName + "&lt;/td&gt;" r += "&lt;td style='text-align:center'&gt;" + eventType + "&lt;/td&gt;" r += "&lt;td style='text-align:right'&gt;" + alarmValue + "&lt;/td&gt;" r += "&lt;/tr&gt;"; } \$("#tbl").append(r); </pre>

	<pre> )}}); &lt;/script&gt; &lt;/body&gt;&lt;/html&gt; </pre>																																																																																																													
イメージ	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="359 264 587 320">発生日時</th> <th data-bbox="587 264 890 320">対象デバイス</th> <th data-bbox="890 264 1018 320">警報の種類</th> <th data-bbox="1018 264 1137 320">警報の種類</th> <th data-bbox="1137 264 1366 320">値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>2015/9/25 9:00:00</td><td>[DM004]デマンド監視4</td><td>第2警報</td><td>復帰</td><td>706</td></tr> <tr><td>2015/9/25 9:00:00</td><td>[DM004]デマンド監視4</td><td>第1警報</td><td>復帰</td><td>706</td></tr> <tr><td>2015/9/25 9:00:00</td><td>[DM002]デマンド監視2</td><td>第3警報</td><td>復帰</td><td>706</td></tr> <tr><td>2015/9/25 9:00:00</td><td>[DM004]デマンド監視4</td><td>第3警報</td><td>復帰</td><td>706</td></tr> <tr><td>2015/9/25 9:00:00</td><td>[DM002]デマンド監視2</td><td>第2警報</td><td>復帰</td><td>706</td></tr> <tr><td>2015/9/25 9:00:00</td><td>[DM002]デマンド監視2</td><td>第1警報</td><td>復帰</td><td>706</td></tr> <tr><td>2015/9/25 9:00:00</td><td>[DM003]デマンド監視3</td><td>第2警報</td><td>復帰</td><td>664</td></tr> <tr><td>2015/9/25 9:00:00</td><td>[DM003]デマンド監視3</td><td>第1警報</td><td>復帰</td><td>664</td></tr> <tr><td>2015/9/25 9:00:00</td><td>[DM003]デマンド監視3</td><td>第3警報</td><td>復帰</td><td>664</td></tr> <tr><td>2015/9/25 8:51:00</td><td>[DM002]デマンド監視2</td><td>第3警報</td><td>発生</td><td>488</td></tr> <tr><td>2015/9/25 8:49:00</td><td>[DM002]デマンド監視2</td><td>第2警報</td><td>発生</td><td>440</td></tr> <tr><td>2015/9/25 8:45:00</td><td>[DM003]デマンド監視3</td><td>第3警報</td><td>発生</td><td>484</td></tr> <tr><td>2015/9/25 8:41:00</td><td>[DM003]デマンド監視3</td><td>第2警報</td><td>発生</td><td>437</td></tr> <tr><td>2015/9/25 8:40:00</td><td>[DM002]デマンド監視2</td><td>第1警報</td><td>発生</td><td>229</td></tr> <tr><td>2015/9/25 8:36:00</td><td>[DM004]デマンド監視4</td><td>第3警報</td><td>発生</td><td>136</td></tr> <tr><td>2015/9/25 8:36:00</td><td>[DM004]デマンド監視4</td><td>第2警報</td><td>発生</td><td>136</td></tr> <tr><td>2015/9/25 8:36:00</td><td>[DM004]デマンド監視4</td><td>第1警報</td><td>発生</td><td>136</td></tr> <tr><td>2015/9/25 8:30:00</td><td>[DM002]デマンド監視2</td><td>第2警報</td><td>復帰</td><td>622</td></tr> <tr><td>2015/9/25 8:30:00</td><td>[DM002]デマンド監視2</td><td>第3警報</td><td>復帰</td><td>622</td></tr> <tr><td>2015/9/25 8:30:00</td><td>[DM002]デマンド監視2</td><td>第1警報</td><td>復帰</td><td>622</td></tr> </tbody> </table>					発生日時	対象デバイス	警報の種類	警報の種類	値	2015/9/25 9:00:00	[DM004]デマンド監視4	第2警報	復帰	706	2015/9/25 9:00:00	[DM004]デマンド監視4	第1警報	復帰	706	2015/9/25 9:00:00	[DM002]デマンド監視2	第3警報	復帰	706	2015/9/25 9:00:00	[DM004]デマンド監視4	第3警報	復帰	706	2015/9/25 9:00:00	[DM002]デマンド監視2	第2警報	復帰	706	2015/9/25 9:00:00	[DM002]デマンド監視2	第1警報	復帰	706	2015/9/25 9:00:00	[DM003]デマンド監視3	第2警報	復帰	664	2015/9/25 9:00:00	[DM003]デマンド監視3	第1警報	復帰	664	2015/9/25 9:00:00	[DM003]デマンド監視3	第3警報	復帰	664	2015/9/25 8:51:00	[DM002]デマンド監視2	第3警報	発生	488	2015/9/25 8:49:00	[DM002]デマンド監視2	第2警報	発生	440	2015/9/25 8:45:00	[DM003]デマンド監視3	第3警報	発生	484	2015/9/25 8:41:00	[DM003]デマンド監視3	第2警報	発生	437	2015/9/25 8:40:00	[DM002]デマンド監視2	第1警報	発生	229	2015/9/25 8:36:00	[DM004]デマンド監視4	第3警報	発生	136	2015/9/25 8:36:00	[DM004]デマンド監視4	第2警報	発生	136	2015/9/25 8:36:00	[DM004]デマンド監視4	第1警報	発生	136	2015/9/25 8:30:00	[DM002]デマンド監視2	第2警報	復帰	622	2015/9/25 8:30:00	[DM002]デマンド監視2	第3警報	復帰	622	2015/9/25 8:30:00	[DM002]デマンド監視2	第1警報	復帰	622
発生日時	対象デバイス	警報の種類	警報の種類	値																																																																																																										
2015/9/25 9:00:00	[DM004]デマンド監視4	第2警報	復帰	706																																																																																																										
2015/9/25 9:00:00	[DM004]デマンド監視4	第1警報	復帰	706																																																																																																										
2015/9/25 9:00:00	[DM002]デマンド監視2	第3警報	復帰	706																																																																																																										
2015/9/25 9:00:00	[DM004]デマンド監視4	第3警報	復帰	706																																																																																																										
2015/9/25 9:00:00	[DM002]デマンド監視2	第2警報	復帰	706																																																																																																										
2015/9/25 9:00:00	[DM002]デマンド監視2	第1警報	復帰	706																																																																																																										
2015/9/25 9:00:00	[DM003]デマンド監視3	第2警報	復帰	664																																																																																																										
2015/9/25 9:00:00	[DM003]デマンド監視3	第1警報	復帰	664																																																																																																										
2015/9/25 9:00:00	[DM003]デマンド監視3	第3警報	復帰	664																																																																																																										
2015/9/25 8:51:00	[DM002]デマンド監視2	第3警報	発生	488																																																																																																										
2015/9/25 8:49:00	[DM002]デマンド監視2	第2警報	発生	440																																																																																																										
2015/9/25 8:45:00	[DM003]デマンド監視3	第3警報	発生	484																																																																																																										
2015/9/25 8:41:00	[DM003]デマンド監視3	第2警報	発生	437																																																																																																										
2015/9/25 8:40:00	[DM002]デマンド監視2	第1警報	発生	229																																																																																																										
2015/9/25 8:36:00	[DM004]デマンド監視4	第3警報	発生	136																																																																																																										
2015/9/25 8:36:00	[DM004]デマンド監視4	第2警報	発生	136																																																																																																										
2015/9/25 8:36:00	[DM004]デマンド監視4	第1警報	発生	136																																																																																																										
2015/9/25 8:30:00	[DM002]デマンド監視2	第2警報	復帰	622																																																																																																										
2015/9/25 8:30:00	[DM002]デマンド監視2	第3警報	復帰	622																																																																																																										
2015/9/25 8:30:00	[DM002]デマンド監視2	第1警報	復帰	622																																																																																																										

### 3.2 テキスト置換の追加

サインページ設定の「テキスト置換の追加」部品の設定方法を説明します。

テキストを直接設定する場合とHTMLコードとして設定する場合で使用方法が異なります。

設定例をテキスト置換登録画面に登録し、HTMLコードはコピーして「変換テキスト」欄に貼り付けて利用してください。



#### テキスト置換

機能	瞬時デバイスの値によってテキストに置き換えます。			
説明	参照するデバイス値より少ない値で、変換テキストで指定したテキストに置き換わります。			
設定例	「変換テキストをHTMLとして認識する」オプションのチェックなし			
	参照デバイス	コピー機電流値		
	デバイス値	変換テキスト	文字色	背景色
	1.0	電源断	#000000	#FFFFFF
	4.0	待機中	#FFF100	#FFFFFF
8.0	使用中	#E60012	#FFFFFF	
イメージ	0.0 <= <b>電源断</b> < 1.0    1.0 <= <b>待機中</b> < 4.0    4.0 <= <b>使用中</b>			

## HTML コード置換

機能	瞬時デバイスの値によってHTMLコードに置き換えます。		
説明	参照するデバイス値未満で、変換テキストで指定したHTMLコードに置き換わります。		
設定例	「変換テキストをHTMLとして認識する」オプションのチェックあり		
	参照デバイス	コピー機電流値	
	デバイス値	変換テキスト	文字色   背景色
	1.0	<table border="1" cellspacing="10"> <td width="100" bgcolor="gray" align="center"> 電源断</td> </table>	デフォルト設定
	4.0	<table border="1" cellspacing="10"> <td width="100" bgcolor="yellow" align="center"> 待機中</td> </table>	デフォルト設定
8.0	<table border="1" cellspacing="10"> <td width="100" bgcolor="red" align="center"> 使用中</td> </table>	デフォルト設定	
イメージ	<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="display: flex; align-items: center; margin-bottom: 10px;"> <span>0.0 &lt;=</span> <div style="border: 1px solid cyan; padding: 5px; margin: 0 10px;"> <div style="background-color: gray; color: white; padding: 2px 10px; text-align: center;">電源断</div> </div> <span>&lt; 1.0</span> </div> <div style="display: flex; align-items: center; margin-bottom: 10px;"> <span>1.0 &lt;=</span> <div style="border: 1px solid cyan; padding: 5px; margin: 0 10px;"> <div style="background-color: yellow; padding: 2px 10px; text-align: center;">待機中</div> </div> <span>&lt; 4.0</span> </div> <div style="display: flex; align-items: center;"> <span>4.0 &lt;=</span> <div style="border: 1px solid cyan; padding: 5px; margin: 0 10px;"> <div style="background-color: red; padding: 2px 10px; text-align: center;">使用中</div> </div> </div> </div>		

## 画像イメージ置換

機能	瞬時デバイスの値によって画像イメージに置き換えます。		
説明	参照するデバイス値未満で、変換テキストで指定した画像ファイルを出力します。 画像ファイルはサーバ内の以下のフォルダに保存されている必要があります。 "C:¥ProgramData¥Panasonic-IDSUMXControl¥EnerVisualizeR¥Data¥DocumentRoot¥graphic"		
設定例	「変換テキストをHTMLとして認識する」オプションのチェックあり		
	参照デバイス	コピー機電流値	
	デバイス値	変換テキスト	文字色   背景色
	1.0		デフォルト設定
	4.0		デフォルト設定
8.0		デフォルト設定	
イメージ	<div style="display: flex; align-items: center; justify-content: space-around;"> <div style="display: flex; align-items: center;"> <span>0.0 &lt;=</span> <div style="border: 1px solid cyan; padding: 5px; margin: 0 10px;">  </div> <span>&lt; 1.0</span> </div> <div style="display: flex; align-items: center;"> <span>1.0 &lt;=</span> <div style="border: 1px solid cyan; padding: 5px; margin: 0 10px;">  </div> <span>&lt; 4.0</span> </div> <div style="display: flex; align-items: center;"> <span>4.0 &lt;=</span> <div style="border: 1px solid cyan; padding: 5px; margin: 0 10px;">  </div> </div> </div>		

## 音声イメージ置換

機能	瞬時デバイスの値によって音声を出力します。			
説明	参照するデバイス値未満で、変換テキストで指定した音声ファイルを出力します。 音声ファイルはサーバ内の以下のフォルダに保存されている必要があります。 "C:¥ProgramData¥Panasonic-IDSUMXControl¥EnerVisualizeR¥Data¥DocumentRoot¥graphic"			
設定例	「変換テキストを HTML として認識する」オプションのチェックあり			
	参照デバイス	コピー機電流値		
	デバイス値	変換テキスト	文字色	背景色
	8.0	<audio src="/graphic/alm.mp3" autoplay loop>	デフォルト設定	

## マニュアル改訂履歴

発行日付	マニュアル番号	改訂内容
2016年4月	WUMJ-EVRC-01	初版
2021年8月	WUMJ-EVRC-02	音声イメージ置換の変換テキストの内容を変更
2024年4月	WUMJ-EVRC-03	社名変更

---

●在庫・納期・価格など、販売に関するお問い合わせは

●技術に関するお問い合わせは

＜FAデバイス技術相談窓口＞

TEL:0120-394-205

受付時間：平日の9時～12時、13時～17時  
(土日祝日、年末年始、当社休業日を除く)

<https://industry.panasonic.com/>

---

**パナソニック インダストリー株式会社**

〒571-8506 大阪府門真市大字門真1006番地

©Panasonic Industry Co., Ltd. 2015-2024

本書からの無断複製はかたくお断りします。

このマニュアルの記載内容は2024年4月現在のものです。